

2025 年 11 月 4 日

各位

株式会社三井住友銀行

ハウスホールドジャパン株式会社に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、ハウスホールドジャパン株式会社（代表取締役社長：野崎 治雄）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：内川 淳）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋が見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、ハウスホールドジャパン株式会社については、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

- ① 再生原料を使用したポリ袋、軽量化したポリ袋の提供を通じた資源の効率的な利用、気候変動の緩和

事業内容	貴社は、人々の生活の質の向上や環境問題に配慮することを重視し、各種ポリ袋、フィルム関連機材等を製造・販売しておられます。物流事業者から回収したストレッチフィルムを原料として活用したポリ袋や、メタロセン等の配合により強度を増し、薄く軽量化したポリ袋を製造しておられます。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題	気候変動の緩和
社会課題解決への貢献内容	物流事業者から使用済みのストレッチフィルムを回収して再生原料として利用することで、フィルムの廃棄の削減につながります。さらに、再生原料の有効活用や製品の薄肉化により原材料の使用を抑制することで、原材料の製造時に発生するCO2排出量の削減につながります。製品の軽量化によって、製品輸送時のエネルギー消費量が抑制され、サプライチェーン上でのCO2排出量の削減にもつながると考えます。

（参考）社会課題概要

世界の平均気温は上昇し続けています。2023 年は最も暑い年となり、産業革命前と比べて 1.5℃近く上昇しました。気候変動は企業に様々なリスクをもたらします。海面上昇により沿岸部の工場の操業停止を余儀なくされるリスク（「物理リスク」）や、国による規制等の強化により事業活動が制限されるリスク（「政策リスク」）、社会・消費者の需要の変化により事業機会が縮小するリスク（「市場リスク」）等が考えられます。

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

法人戦略部 サステナブルソリューション室

TEL：03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。